

# JICA北海道(札幌) SDGsパネル貸出しリスト

このパネルは、パンフレット「北海道からSDGsー持続可能な未来のためにー」を抜粋して作成しています。各パネルの拡大画面は、パンフレットのデータをご覧ください。

【S-01】～【S-21】 SDGs概要

[https://www.jica.go.jp/sapporo/office/pr/ku57pq000005mliy-att/sdgs\\_01.pdf](https://www.jica.go.jp/sapporo/office/pr/ku57pq000005mliy-att/sdgs_01.pdf)

【S-22】～【S-74】 JICA北海道事業紹介

[https://www.jica.go.jp/sapporo/office/pr/ku57pq000005mliy-att/sdgs\\_02.pdf](https://www.jica.go.jp/sapporo/office/pr/ku57pq000005mliy-att/sdgs_02.pdf)

<p><b>S-01</b></p> <p><b>持続可能な開発目標(SDGs)とは?</b></p> <p><b>Sustainable Development Goals</b></p> <p>持続可能な開発目標は、みんながずっと地球に住み続けられるようにするために、どんな問題を解決する必要がありますか?</p> <p>SDGsは、2015年9月に国連総会で採択された持続可能な開発目標です。2015年9月に国連総会で採択された持続可能な開発目標です。</p>	<p><b>S-02</b></p> <p><b>SDGsはなぜ必要なの?</b></p> <p>みんなにとって幸せな未来、ずっと地球に住み続けられるようにするために、どんな問題を解決する必要がありますか?</p> <p>SDGsは、地球上のみんなを幸せにするための目標です。そのために「地球上の一人一人として暮らすための目標」として、持続可能な開発目標を設定し、持続可能な未来を築いていきます。</p>	<p><b>S-03</b></p> <p><b>わたしたちもできるSDGsへの貢献①</b></p> <p>今すぐに、みんなで行動をはじめよう！ はじめないと、間に合わなくなってしまいます。</p> <p>わたしたちもできることを考えてみよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>水を大切に使う</li> <li>ごみをへらそう</li> <li>必要な分の食料を買おう</li> <li>地元でとれたものを食べよう</li> </ul>	<p><b>S-04</b></p> <p><b>わたしたちもできるSDGsへの貢献②</b></p> <p>買い物するときの基準を考え直してみよう</p> <p>フェアトレード商品を買ってみよう！</p> <p>調べよう、そして周りの人に発信しよう</p> <p>私たちの小さな選択がSDGs目標に貢献しています。まずは「知る」ことが第一歩。調べて、考えて、行動しよう！</p>
<p><b>S-05</b></p> <p><b>世界で7億人を超える人々が極度の貧困の中で暮らしています。</b></p> <p>先進国でも、3,000万人の子供が貧困状態だとされています。</p> <p>世界のどの地域に極度の貧困が多いですか?</p> <p>世界のどの地域に極度の貧困が多いですか?</p> <p>世界のどの地域に極度の貧困が多いですか?</p>	<p><b>S-06</b></p> <p><b>世界で8億人が飢餓に苦しんでいます。</b></p> <p>長い間食糧不足に苦しんできた人々を救済し、食糧を安定に手に入れることができるようにします。</p> <p>世界の飢餓人口</p> <p>この目標を達成するために世界の国々が決めたことは何ですか?</p>	<p><b>S-07</b></p> <p><b>毎年600万人が5歳までに命を失っています。また、開発途上国で必要な医療を受けられる女性は全体の半数に過ぎません。</b></p> <p>あらゆる年齢のすべての人が健康で、安心して暮らせるようにします。</p> <p>5歳未満の死亡率と順位</p> <p>この目標を達成するために世界の国々が決めたことは何ですか?</p>	<p><b>S-08</b></p> <p><b>開発途上国では5,700万人の子供が学校に通っていません。</b></p> <p>誰もが平等に質の高い教育を受けられ、生涯にわたって学び続けられるようにします。</p> <p>7億5,000万人</p> <p>3人に2人が女性</p> <p>この目標を達成するために世界の国々が決めたことは何ですか?</p>
<p><b>S-09</b></p> <p><b>女性の平均賃金は男性を24%下回っています。</b></p> <p>すべての人が性別を理由に差別されない社会を作り、女性や女子が自分自身で人生を切り開いていくために必要な力を身に付ける「エンパワメント(能力強化)」を支援します。</p> <p>この目標を達成するために世界の国々が決めたことは何ですか?</p> <p>男女賃金格差</p>	<p><b>S-10</b></p> <p><b>全世界の18億人が、排泄物などで汚染された水を飲んでいて、24億人がトイレを利用していません。</b></p> <p>生活排水や産業排水の80%以上がそのまま川や海に流されています。</p> <p>すべての人が、安全な水ときれいな環境を得られるようにします。</p> <p>この目標を達成するために世界の国々が決めたことは何ですか?</p>	<p><b>S-11</b></p> <p><b>世界で12億人以上の人(5人に1人)が電力を利用していません。</b></p> <p>28億人が調理や暖房に薪や木炭、石炭などを使っています。</p> <p>すべての人が価格が安く、環境や健康への影響が少ないエネルギーを安定して使えるようにします。</p> <p>この目標を達成するために世界の国々が決めたことは何ですか?</p>	<p><b>S-12</b></p> <p><b>2015年の世界の失業者は2億400万人。その多くが若者です。</b></p> <p>環境を悪化させないように経済成長を進めながら、働きがいのある人間らしい雇用「ディーセント・ワーク」をすべての人ができるようにします。</p> <p>この目標を達成するために世界の国々が決めたことは何ですか?</p> <p>若者の失業率</p>

### S-13

#### 9 基礎的なインフラが整っていないと、産業の発展や雇用の増加の妨げにもなります。

災害に強いインフラを整備し、技術研究を支援して、産業の発展や雇用の増加を促していきます。

この目標を達成するために世界の国々が決めたことは何ですか？

- 持続可能な災害に強いインフラを整備し、経済成長と人々の暮らしを支援します。
- 資金の提供や技術支援などで、小規模ビジネスを育てています。
- それぞれの国に必要な科学的な研究を促進し、イノベーション(新たなアイデアや手法の利用)を進めます。
- すべての人が、インターネットや新しい通信技術を使えるようにします。

インターネットの普及率 (※2017年)	約81%
電力供給率	約40%
固定電話の普及率	約18%

### S-14

#### 10 年齢、性別、障害、人種、民族、宗教などを理由とする不平等は世界各国で根強く残っています。

年齢、性別、障害、人種、民族、宗教などを理由とする不平等は世界各国で根強く残っています。

この目標を達成するために世界の国々が決めたことは何ですか？

- 所得の低い人々の収入を増やし、所得格差を改善します。
- 特定のグループを差別するような法律や習慣をなくします。
- 不利な立場にある人を守るような法律や政策を実施します。

国	ジニ係数
ロシア	0.35
中国	0.35
アメリカ	0.38
インド	0.38
ドイツ	0.31
日本	0.32
フランス	0.31
英国	0.31
韓国	0.32
ブラジル	0.53
南アフリカ	0.63

### S-15

#### 11 2050年には都市人口が65億人に増え、世界人口の3分の2に達します。

誰もが受け入れられ、安全で災害に強く、ずっと住み続けられるまちにします。

この目標を達成するために世界の国々が決めたことは何ですか？

- すべての人が安全で住みやすい家や、水・電気などの必要なサービスを得られるようになります。
- まちづくりの住民の参加を確保し、子供や女性、障害者、高齢者にとっても安全で生活しやすいまちにします。
- 災害に強いまちにします。
- PM2.5などの大気汚染を防ぎ、ごみを管理して、都市の環境を改善します。

### S-16

#### 12 毎年世界で生産される食料の3分の1が消費されずに捨てられています。

資源を大切に使い、生産者の暮らしを守る持続可能な生産と消費を進めます。

この目標を達成するために世界の国々が決めたことは何ですか？

- 捨てられる食料の量を世界全体で半分に減らします。そのために市民と企業が一緒に取り組みます。
- 空気が水、土を汚さないよう、有害な化学物質をきちんと管理します。
- 3つのR(リデュース、リユース、リサイクル)の取り組みを通じて、ごみの量を減らします。

食品ロス削減 (※2015年)	45%
農薬削減	35%
肥料削減	30%
種子削減	20%

### S-17

#### 13 気候変動は、貧困層や社会的弱者に特に深刻な影響を及ぼしています。

気候変動や、それによる影響を止めるために、すぐに行動を起こします。

この目標を達成するために世界の国々が決めたことは何ですか？

- 化石燃料の使用を減らし、脱炭素を進めます。
- 2015年に、温室効果ガス削減目標を決めました。
- 気候変動が原因の自然災害に備えた対策を行い、被害を抑えます。

### S-18

#### 14 人間が海の環境を悪化させ、海の恵みを失いつつあります。

きれいな海と、魚などの海の資源を守り、持続可能な方法で利用します。

この目標を達成するために世界の国々が決めたことは何ですか？

- プラスチックごみによる海の汚染を減らします。
- 違法な漁業や魚のとりすぎを取り除き、海の資源を守ります。
- 海の生物と生物が暮らしている環境(生態系)を守ります。
- 貧しい国/小さい島国が海の資源をきちんと保護・管理できるように支援します。

### S-19

#### 15 森林が失われて、生態系と人間の生活環境に悪影響を及ぼしています。

森林を守り、再生し、長く大切に利用します。砂漠がこれ以上増えないようにします。たくさんの種類の生物(生物多様性)を守ります。

この目標を達成するために世界の国々が決めたことは何ですか？

- 森林破壊を減らし、木を植えて森林を再生します。
- 森林をきちんと管理し、持続可能な方法で利用します。
- 絶滅の恐れのある生物が暮らしている環境(生態系)を守ります。
- 絶滅の恐れのある生物を保護し、たくさんの種類の生物(生物多様性)を守ります。

### S-20

#### 16 世界では紛争やテロリズム、暴力によって命を落とす人が後をたちません。

暴力や虐待のない平和な社会、誰もが法によって守られる社会をつくりまします。

この目標を達成するために世界の国々が決めたことは何ですか？

- 紛争やテロリズムを防ぎ、暴力や暴力による死をなくします。
- 虐待や搾取、人身取引など、子どもに対するあらゆる形の暴力をなくします。
- すべての人が国内でも海外でも平等に司法制度を利用して、法によって守られるようになります。

### S-21

#### 17 持続可能な開発目標(SDGs)は、地球に暮らすわたしたち全員が取り組む目標です。

SDGs達成のため各国の政府、市民、民間企業、民間団体、教育・研究者を含む全員が協力します。

目標1から目標16までを達成するために、世界の国々が決めたことは何ですか？

- 2030年までに、すべての国が目標を達成できるように助け合います。
- それぞれの国が、政策の中に「目標達成」を盛り込み、国の予算を使うようにします。
- 開発途上国が目標を達成できるように先進国が支援します。
- 国と国だけでなく、人と人、地域と地域などさまざまなレベルで協力します。

### S-22

#### JICA北海道 5つの事業案内

～さまざまな取り組みで、北海道と世界をつなぐSDGs達成に貢献します～

- 研修員受入: 約1,000名受け入れ
- ボランティア派遣: 累計約2,600名派遣
- 開発教育支援: 出稼研修・センター研修約276回
- 草の根技術協力: 累計約48回
- 中小企業・SDGsビジネス支援: 累計約30件

### S-23

#### 地域住民主体の森林管理・保全を目指し世界での森林を守る

研修員受入事業: 地域住民主体の森林管理・保全に向けた持続可能な森林管理

世界中の各地域で森林を守るために、住民参加による自主的な活動が不可欠です。JICA北海道(部局)はそのための第一歩として、森林保全活動を推進する人材を育成するため、主に開発途上国の自治体職員を対象とした研修を行っています。この研修では、様々なニーズに対応できるように、苗木の生産から森林の管理、さらには木材を利用したバイオマスエネルギーの利用まで、幅広いソリューションを実施しています。

### S-24

#### 気候変動に対するリスクを減らす生態系を考えた河川環境の取り組みを

研修員受入事業: 気候変動に対する生態系を考えた河川環境の取り組み

気候変動による洪水リスクや生態系劣化などが地球規模で起こっています。生態系を健全に保つことは、気候変動のリスクを減らすのに効果的であることが明らかになってきました。北海道だけでなく、世界中の多くの地域で、生態系を活用した防災・減災の取り組みが進んでいます。生態系を活用した防災・減災の取り組みを学ぶために、JICA北海道(部局)は、気候変動に対する生態系を考えた河川環境の取り組みを学ぶために、研修員受入事業を実施しています。

### S-25

#### 畑作や食品加工で出た茎や皮を有効活用する知恵を学ぶ

研修員受入事業: 持続可能な農業・食品加工に関する知恵を学ぶ

多くの国において、畑作や食品加工で出た茎や皮は、十分な肥料・飼料・飼料の原料となることが多く、資源として有効活用されています。JICA北海道(部局)では、畑作や食品加工で出た茎や皮の有効活用について、効果的な農業・食品加工の知恵を学ぶために、研修員受入事業を実施しています。

### S-26

#### 実験・観察を通じた理科教育を子どもたちへ

研修員受入事業: 実験・観察を通じた理科教育を子どもたちへ

開発途上国では、実験や観察を通じた理科教育が不足しています。JICA北海道(部局)では、理科教育の充実を支援するために、実験や観察を通じた理科教育の知恵を学ぶために、研修員受入事業を実施しています。

### S-27

#### 積雪寒冷地に適した橋梁維持管理のノウハウを途上国へ

研修員受入事業: 積雪寒冷地に適した橋梁維持管理のノウハウを途上国へ

積雪寒冷地では、橋梁の維持管理が重要な課題です。JICA北海道(部局)では、積雪寒冷地の橋梁維持管理のノウハウを途上国に伝えるために、研修員受入事業を実施しています。

### S-28

#### 新たな農業経営を目指す中央アジア諸国北海道の経験学ぶ

研修員受入事業: 新たな農業経営を目指す中央アジア諸国北海道の経験学ぶ

1991年の旧ソ連解体により独立した中央アジア諸国では、土地所有制度の改革や農業経営の改革が進み、多くの中小企業家が登場しました。多くの中央アジア諸国は、農業経営や畜産の分野で、北海道の経験や知恵を必要としています。北海道は、農業経営や畜産の分野で、北海道の経験や知恵を必要としています。北海道は、農業経営や畜産の分野で、北海道の経験や知恵を必要としています。

<p>S-29</p> <p><b>増大する道路メンテナンスの需要 道路管理技術者を育成</b></p> <p>【研修員受入事業】道路管理技術者養成研修</p> <p>急速な経済発展に伴い、開発途上国では増大する自動車交通需要に対応するための道路メンテナンスの重要性がますます高まっています。この研修は、道路メンテナンス技術者の育成を目的として、道路メンテナンスの重要性や、道路メンテナンスの現場での実践的な作業方法を学ぶことができます。</p> <p>【実施団体】北海道開発局、札幌市建設局、一般社団法人北海道開発技術センター</p>	<p>S-30</p> <p><b>地震後の早急なインフラ復旧 災害対応計画の重要性を研修員が実感</b></p> <p>【研修員受入事業】防災訓練・インフラ復旧研修</p> <p>この研修では、北海道のインフラの歴史や経緯を学んでいます。研修員は自らの2018年6月、北海道道庁防災部で発生した地震の経験に基づいて、災害時のインフラの復旧の重要性が実感されています。被災した地域のインフラの復旧も1週間以内の復旧作業が行われ、復旧可能なことに対し、北海道の道路技術者に敬意を込めて感謝状が送られています。また、被災地の現状を視察し、復旧計画の重要性を学ぶことができました。</p> <p>【実施団体】北海道、公益社団法人北海道開発局、札幌開発技術センター（HIECC）他</p>	<p>S-31</p> <p><b>北海道の農業で アフリカの食糧増産に貢献</b></p> <p>【研修員受入事業】農産物加工研修/農業技術研修</p> <p>アフリカの農村は、食糧自給率が低く、食糧の増産が課題となっており、農業生産性の向上やバリューチェーンの構築、市場志向の農業生産への取り組みが求められています。北海道の農業の経験や技術を、アフリカの農村に伝えることで、食糧増産に貢献することができます。</p> <p>【実施団体】公益財団法人北海道農業公社、北海道大学、北海道農工大学</p>	<p>S-32</p> <p><b>北海道の土地改良の経験やノウハウから 灌漑施設の保守や維持を学ぶ</b></p> <p>【研修員受入事業】灌漑施設保守研修</p> <p>多くのアジア・アフリカ諸国では、灌漑施設の保守や維持が課題となっています。北海道は、灌漑施設の保守や維持の経験やノウハウが豊富です。この研修では、灌漑施設の保守や維持の重要性や、灌漑施設の点検や点検の方法を学ぶことができます。</p> <p>【実施団体】農林中央土地改良区、大士建設事務所、てしむらび土地改良区、北海道土地改良区、農林中央土地改良区、北海道土地改良区</p>
<p>S-33</p> <p><b>アフリカ諸国の 保健医療サービスの改善に向けて</b></p> <p>【研修員受入事業】保健医療研修/アフリカ地域保健研修</p> <p>アフリカ諸国の多くは、保健医療サービスの不足により住民の健康が脅かされています。保健医療サービスの改善に向けて、保健医療サービスの重要性や、保健医療サービスの提供の方法を学ぶことができます。</p> <p>【実施団体】旭川医科大学</p>	<p>S-34</p> <p><b>北海道の知見から学ぶ 地域観光開発</b></p> <p>【研修員受入事業】観光研修/観光開発研修</p> <p>観光は地域振興の重要な手段です。北海道の観光開発の経験や知見を学ぶことで、地域観光の開発に貢献することができます。</p> <p>【実施団体】公益財団法人ほろびた学習財団</p>	<p>S-35</p> <p><b>火山災害の被害を減らして 火山とともに生きる</b></p> <p>【研修員受入事業】防災訓練/火山災害研修</p> <p>2000年の有珠山噴火で被害を受けた北海道、そこには火山災害の経験や知見が蓄積されています。この研修では、火山災害の被害を減らすための対策や、火山とともに生きるための知見を学ぶことができます。</p> <p>【実施団体】特定非営利活動法人 環境防災政策研究機構</p>	<p>S-36</p> <p><b>企業・大学・研究機関が協力 クラスター・アプローチで地域産業振興を</b></p> <p>【研修員受入事業】クラスター・アプローチ研修</p> <p>北海道では、様々な産業の分野で企業・団体が協力し、結びつきながら、地域振興に取り組んでいます。この研修では、企業・大学・研究機関が協力して地域産業を振興するための経験や知見を学ぶことができます。</p> <p>【実施団体】公益財団法人北海道科学技術振興センター（ノーステック財団）、北海道開発局 他</p>
<p>S-37</p> <p><b>楽しい算数学習で 児童の学びにつなげる</b></p> <p>【研修員受入事業】算数研修/算数学習研修</p> <p>開発途上国における算数教育の重要性は、数値の乏しさを克服するための重要な手段です。この研修では、楽しい算数学習の方法や、算数学習の重要性を学ぶことができます。</p> <p>【実施団体】北海道教育大学</p>	<p>S-38</p> <p><b>途上国の森林を適切に保全 森林資源のモニタリング技術を磨く</b></p> <p>【研修員受入事業】森林研修/森林資源モニタリング研修</p> <p>森林は大きな炭素貯蔵庫であり、その破壊によって大量の温室効果ガスが放出されます。途上国の森林を適切に保全するために、森林資源のモニタリング技術を磨くことが重要です。</p> <p>【実施団体】農工大学</p>	<p>S-39</p> <p><b>北海道の企業・団体の経験を学ぶ 次世代のリーダー</b></p> <p>【研修員受入事業】青年研修/中産層・企業研修</p> <p>北海道では、様々な産業の分野で企業・団体が協力し、結びつきながら、地域振興に取り組んでいます。この研修では、北海道の企業・団体の経験を学ぶことで、次世代のリーダーとして活躍することができます。</p> <p>【実施団体】公益財団法人北海道科学技術振興センター（ノーステック財団）</p>	<p>S-40</p> <p><b>北海道からモンゼンピックへ 食品加工や病害虫対策を伝授</b></p> <p>【研修員受入事業】モンゼンピック研修/食品加工研修</p> <p>モンゼンピック農林関係に設立された、北海道道庁における食品加工や病害虫対策の研修を学ぶことができます。この研修では、食品加工や病害虫対策の重要性や、食品加工や病害虫対策の方法を学ぶことができます。</p> <p>【実施団体】一般社団法人 海外国際交流協会</p>
<p>S-41</p> <p><b>「水源」から「蛇口」まで 日本の上水道技術を学ぶ</b></p> <p>【研修員受入事業】上水道技術研修</p> <p>人間が健康で文化的な生活を送るには、良好な水環境を確保することが重要です。日本の上水道技術を学ぶことで、水環境の改善に貢献することができます。</p> <p>【実施団体】札幌市水道局、公益社団法人 北海道国際交流・協力センター（HIECC）</p>	<p>S-42</p> <p><b>自然資源の適切な管理で 地域振興を目指す</b></p> <p>【研修員受入事業】自然資源管理研修</p> <p>世界の自然資源は、まだ十分な管理を受けていないものが多く、持続可能な自然資源管理を実現するための政策、法の制定、モニタリングや技術が求められています。北海道は、自然資源の適切な管理に力を入れています。この研修では、自然資源の適切な管理の方法や、自然資源の管理の重要性を学ぶことができます。</p> <p>【実施団体】農工大学</p>	<p>S-43</p> <p><b>交流イベントを通じて 日本文化を体験</b></p> <p>【研修員受入事業】交流イベント、日本文化体験</p> <p>JICA北海道では、日本の経験や技術を学ぶための来日した開発途上国の研修員のために、日本文化にふれながら学ぶためのプログラムを実施しています。この研修では、日本文化を体験し、日本の経験や技術を学ぶことができます。</p>	<p>S-44</p> <p><b>戦争のがれシリアからヨルダンへ 傷つた子どもたちのサポートを</b></p> <p>【研修員受入事業】シリアからの子どもたちへのサポート研修</p> <p>ヨルダン北東部にあるシリア難民キャンプでは、長期的に閉鎖的な環境に暮らす子どもたちが多くいます。この研修では、シリアからの子どもたちへのサポートの方法や、子どもたちのサポートの重要性を学ぶことができます。</p> <p>【実施団体】ヨルダン（セーブ・ザ・チルドレン・インターナショナル） 【実施期間】2013年〜2014年</p>

S-45



### バブアニューギニアのマラリア予防に 現地のミュージシャンと音楽でPR

バブアニューギニアでは毎年マラリアによって多くの人が亡くなっています。そこで、現地のミュージシャンとマラリア予防の重要性を伝えるための音楽活動を行いました。音楽活動を通じて、マラリアの予防方法や治療法に関する知識を広く普及させ、地域住民のマラリアを怖れず治療を受けることを促すことができました。

【実施】バブアニューギニア（コゴ保護区）  
【実施期間】2016年～2018年

S-46



### ラオスの非効率的な業務を見直し 公共投資事業の運営管理をサポート

ラオスでは、公共投資事業において適切な予算編成や財政管理と業務の効率化が、社会経済発展上の課題となっています。ラオスの非効率的な業務を見直し、公共投資事業の運営管理をサポートするために、公共投資事業の運営管理に関する研修や予算管理システムの導入を行いました。

【実施】ラオス（アンパンノン県/アンパンノン郡建設局）  
【実施期間】2017年～2019年

S-47



### アマゾンの希少動物を守るため 子どもたちに環境教育を

ペルーのアマゾン地域では、アマゾン川流域の希少動物の保護が課題となっています。自然環境や希少動物の大切さを子どもたちに伝えるため、環境教育や自然観察会などの活動を行いました。子どもたちの環境意識を高め、希少動物の保護に貢献しました。

【実施】ペルー（アマゾン動物保護センター）  
【実施期間】2015年～2017年

S-48



### パラグアイ、栄養問題を抱える住民に 栄養士から栄養・食育のアドバイスを

パラグアイは糖尿病や高血圧などの生活習慣病、妊婦の栄養改善が課題となっています。栄養士から栄養・食育のアドバイスを受け、健康な食生活を送るための知識やスキルを身につけるための活動を行いました。住民の健康意識を高め、生活習慣病の予防に貢献しました。

【実施】パラグアイ（第5行政地区カダス保健所）  
【実施期間】2016年～2018年

S-49



### エチオピアの園児たちに 手洗いソングで楽しく教育

エチオピアでは、幼稚園は小学校入学までの準備期間としての重要性が高く、適切な手洗い教育の実践が課題となっています。北エチオピアの青年海外協力隊が現地に派遣され、園児などの日本語を教える活動を通じて、手洗いの重要性を楽しく伝えるための活動を行いました。手洗いソングを作成し、園児たちが楽しく歌うことで、手洗いの重要性を教員や子どもたちに広げました。

【実施】エチオピア（アワレバネディンダ保健所）  
【実施期間】2016年～2018年

S-50



### パラグアイ、看護師による 予防医療や保健意識の向上を目指して

パラグアイでは、地域で予防と医療の役割を行う活動の強化が課題となっています。住民の健康や生活の向上を目指すため、看護師による予防医療や保健意識の向上を目指すための活動を行いました。看護師が住民に対して、予防医療や保健意識の向上に関する知識やスキルを伝えるための活動を行いました。

【実施】パラグアイ（カラジャガ保健センター）  
【実施期間】2018年～2020年

S-51



### ガーナで理科教育 現地教員不足や指導法の改善をサポート

ガーナでは、理科教員の不足が深刻な課題となっています。特に実験などの実践的な指導が不足しています。現地教員の指導力の向上を目指すため、理科教育の改善をサポートするための活動を行いました。理科教育の改善に関する知識やスキルを伝えるための活動を行いました。

【実施】ガーナ（アムラ高等学校）  
【実施期間】2016年～2018年

S-52



### 現地の看護師に 実践的な日本語看護を指導

モンゴルの看護師は、日本の看護協会が提供する実践的な日本語看護の指導を受け、看護技術の向上を目指すための活動を行いました。実践的な日本語看護の指導に関する知識やスキルを伝えるための活動を行いました。

【実施】モンゴル（ウランバートル市立医科大学付属病院）  
【実施期間】2016年～2018年

S-53



### キノコ栽培や稲作で ザンビアの農家の暮らしを改善

ザンビアでは、キノコ栽培や稲作の技術が不足していることが課題です。農家の収入向上や生活改善を目指すため、キノコ栽培や稲作の技術に関する知識やスキルを伝えるための活動を行いました。農家の収入向上や生活改善に関する知識やスキルを伝えるための活動を行いました。

【実施】ザンビア（ランゲラ保健センター）  
【実施期間】2016年～2018年

S-54



### 海外研修の経験を活かし 学校で国際理解教育の授業を

海外研修の経験を活かし、学校で国際理解教育の授業を行うための活動を行いました。海外研修の経験に関する知識やスキルを伝えるための活動を行いました。

【実施】北関東内務局

S-55



### 約100ヶ国から研修員が学校訪問 「国際協力」への礎を築く

JICA北海道では、アジア、アフリカ、中南米など約100ヶ国から研修員を受け入れています。研修員が学校訪問を行い、国際協力に関する知識やスキルを伝えるための活動を行いました。国際協力に関する知識やスキルを伝えるための活動を行いました。

【実施】北海道内務局  
【実施期間】8月上旬～2月上旬

S-56



### 小学生から高校生まで 国際協力を体験

JICA北海道では、若い世代に日本と世界のつながりや、国際協力の意義を伝えるための活動を行いました。小学生から高校生まで、国際協力を体験するための活動を行いました。

【実施】北海道内務局  
【実施期間】8月上旬、12月中旬

S-57



### 現職教員のネットワークと連携 子どもたちにグローバルな視野を

北海道教育者ネットワーク（D-net）は、現職教員が国際理解教育/国際教育を推進するための活動を行っています。D-netを通じて、国際理解教育/国際教育に関する知識やスキルを伝えるための活動を行いました。

【実施】北海道教育者ネットワーク（D-net）  
【実施期間】2016年～2021年

S-58



### 世界難民の日にあわせ 映画やトークショーで難民について考える

世界難民の日にあわせ、映画やトークショーを通じて、難民について考えるための活動を行いました。世界難民の日に関する知識やスキルを伝えるための活動を行いました。

【実施】国連UNHCR協会、一般財団法人さつぽろ健康スポーツ財団、JICA北海道  
【実施期間】2月中旬

S-59



### 札幌で世界について知ろう！ JICAのお祭り「世界ふれあいひろば」

JICA北海道では、異文化理解や国際協力に関する知識やスキルを伝えるための活動を行いました。札幌で世界について知ろう！ JICAのお祭り「世界ふれあいひろば」を開催しました。

【実施】札幌市、公益財団法人札幌国際プラザ、一般財団法人さつぽろ健康スポーツ財団、JICA北海道  
【実施期間】8月下旬

S-60



### 国際協力団体とともに 道内最大のイベント「国際協力フェスタ」

国際協力フェスタは、国際協力に関する知識やスキルを伝えるための活動を行いました。道内最大のイベント「国際協力フェスタ」を開催しました。

【実施】北海道NGOネットワーク協議会、JICA北海道  
【実施期間】12月中旬

<p><b>S-61</b></p>  <p><b>フェアトレード商品を手にとることで 世界をより身近に</b></p> <p>【実施国】 日本 【実施機関】 JICA 【実施期間】 2017年～2019年</p>	<p><b>S-62</b></p>  <p><b>インドネシア・バリ島で 現地の障がい者に車いすの修理を教える</b></p> <p>【実施国】 インドネシア 【実施機関】 JICA 【実施期間】 2018年～2020年</p>	<p><b>S-63</b></p>  <p><b>滝川発！寒冷地にあわせた 栽培や加工の技術指導をモンゴルで</b></p> <p>【実施国】 モンゴル 【実施機関】 JICA 【実施期間】 2017年～2020年</p>	<p><b>S-64</b></p>  <p><b>ウガンダで安全な牛乳を量産！ 酪農学園大学による技術指導</b></p> <p>【実施国】 ウガンダ 【実施機関】 酪農学園大学 【実施期間】 2017年～2019年</p>
<p><b>S-65</b></p>  <p><b>都市化が進むウランバートル市に 安定した水供給のための技術教育を</b></p> <p>【実施国】 モンゴル 【実施機関】 JICA 【実施期間】 2016年～2018年</p>	<p><b>S-66</b></p>  <p><b>正しい歯磨きで健康増進！ バングラデシュの子どもたちに教育</b></p> <p>【実施国】 バングラデシュ 【実施機関】 JICA 【実施期間】 2018年～2021年</p>	<p><b>S-67</b></p>  <p><b>パラグアイの酪農振興のため 帯広畜産大学が技術レベル向上を支援</b></p> <p>【実施国】 パラグアイ 【実施機関】 帯広畜産大学 【実施期間】 2016年～2020年</p>	<p><b>S-68</b></p>  <p><b>スリランカの視覚障がい者へ 指圧を教えることで経済的自立を促す</b></p> <p>【実施国】 スリランカ 【実施機関】 JICA 【実施期間】 2020年～2022年</p>
<p><b>S-69</b></p>  <p><b>マレーシアで環境教育普及のための 新しいプログラム集と教材を共同製作</b></p> <p>【実施国】 マレーシア 【実施機関】 JICA 【実施期間】 2019年～2022年</p>	<p><b>S-70</b></p>  <p><b>ボリビア各都市でカメラを使って 井戸を長持ちさせる普及・実証活動を</b></p> <p>【実施国】 ボリビア 【実施機関】 JICA 【実施期間】 2017年～2019年</p>	<p><b>S-71</b></p>  <p><b>キルギスの道路の落石を防止！ 人びとの流通を安心・安全に</b></p> <p>【実施国】 キルギス 【実施機関】 JICA 【実施期間】 2017年～2018年</p>	<p><b>S-72</b></p>  <p><b>ラオスの水力発電所で 安全運用を図るシステムを導入</b></p> <p>【実施国】 ラオス 【実施機関】 JICA 【実施期間】 2017年～2018年</p>
<p><b>S-73</b></p>  <p><b>インドネシアの多目的ダムで 災害対策や環境を守る監視システム導入</b></p> <p>【実施国】 インドネシア 【実施機関】 JICA 【実施期間】 2015年～2017年</p>	<p><b>S-74</b></p>  <p><b>落石による交通遮断を回避、 東ティモール民主共和国の交通を守る</b></p> <p>【実施国】 東ティモール民主共和国 【実施機関】 JICA 【実施期間】 2018年～2019年</p>	<p><b>S-75</b></p>  <p><b>ベトナム・世界遺産ハロン湾の美しい環境 を守るため、パイオトイレ導入と普及を</b></p> <p>【実施国】 ベトナム 【実施機関】 JICA 【実施期間】 2015年～2018年</p>	<p><b>S-76</b></p>  <p><b>作業効率を上げる収穫機に期待！ インドの農村地域での新たな取り組み</b></p> <p>【実施国】 インド 【実施機関】 JICA 【実施期間】 2014年～2018年</p>